

外壁リフォームの設計

事前調査の方法

RC造
金属・木胴縁工法

RC造外断熱
金属胴縁工法

RC造
専用ブラケット工法

S造(ALC)
金属・木胴縁工法

RCタイル外壁への
リフォーム工法

NS型ネオスパン
補強工法

- 鋼製胴縁はブラケットに対し、ステンレススネジ(φ4mm×19mm)2本で固定します。最初にブラケットの長孔に専用ビスを留め付けて鋼製胴縁を前後に動かし不陸調整を行います。位置が決まったら丸孔に専用ビスを留め付けます。
- 開口部周りには鋼製胴縁接合部用を使用します。鋼製胴縁接合部用に対し、ブラケットは1500mm以下の間隔で設置します。鋼製胴縁接合部用の長さが1500mm未満の場合は2箇所留めとします。
- 鋼製胴縁はブラケットに対し、鋼製胴縁の出幅が半分以上(40mm幅の場合は20mm)かかるように固定します。不陸が大きく半分以上かからない場合は、不陸調整部材を使用します。不陸調整部材とブラケットはステンレススネジ(φ4mm×19mm)2本で固定します。
- 鋼製胴縁どうしの接合部は突き付けにせず、10～20mm離して留め付けます。

